英語 4　話を聞き、概要を捉える

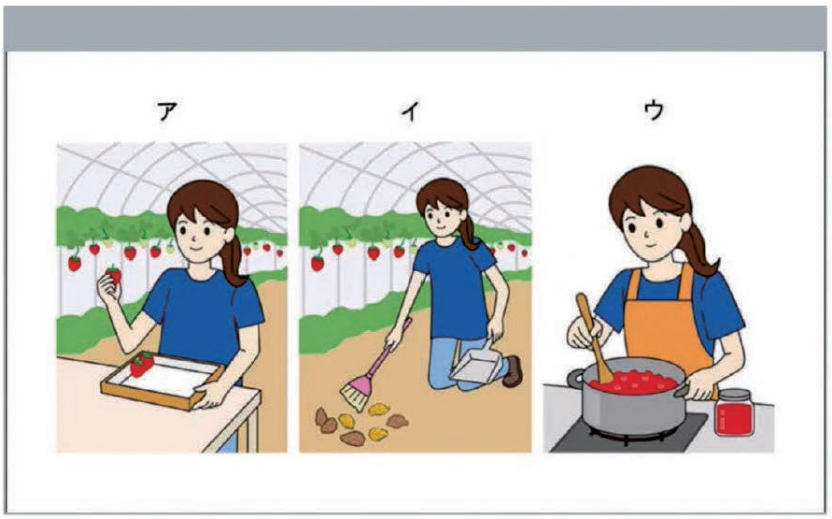
【画面１】

<問題文>
しおりが、先週、いちご農園で体験したことについて英語で発表します。しおりの発表を聞いたあと、ア、イ、ウの３枚の絵が示されます。しおりが体験した順に、①②③の中に入る絵を、１つずつ選びなさい。必要に応じてメモを取ってもかまいません。

<解答欄> ① 選択肢から選ぶ ⇨ ② 選択肢から選ぶ ⇨ ③ 選択肢から選ぶ

【画面２】

<問題文>
しおりが、先週、いちご農園で体験したことについて英語で発表します。しおりの発表を聞いたあと、ア、イ、ウの３枚の絵が示されます。しおりが体験した順に、①②③の中に入る絵を、１つずつ選びなさい。必要に応じてメモを取ってもかまいません。



<解答欄> ① 選択肢から選ぶ ⇨ ② 選択肢から選ぶ ⇨ ③ 選択肢から選ぶ

英語の音声スクリプト【画面１】

I had work experience at a strawberry farm last week. In the morning, I made strawberry jam. I put strawberries and sugar into a pot, and cooked them. After lunch, I picked strawberries. I checked their sizes and colors. I put them into the box. Finally, I cleaned around the farm. I saw old strawberry leaves on the ground, so I collected them. The work was hard, but I had a great experience.

英語の音声スクリプトの解説

“I had work experience at a strawberry farm last week.” は、これから発表する内容を示している。“ In the morning ” “ After lunch ” “ Finally ” は、時間の流れを示し、その後の “I made …” “I picked …” “I cleaned …” は、職場体験で行ったこととその詳細を示している。“The work was hard, but I had a great experience.” は、職場体験での感想を示している。

出題の趣旨

日常的な話題について、話を聞き、概要を捉えることができるかどうかをみる。

「概要を捉える」とは、１つの話題に沿って話されるものなど、内容に一貫性のある英語を最初から最後まで聞き、一語一語や一文一文の意味など特定の部分にのみとらわれることなく、全体としてどのような話のあらましになっているのかを捉えることである。

英語４は、日常的な話題について、話を聞き、概要を捉えることができるかどうかを把握するために、職場体験についての発表を聞き、その後に示される３枚の絵を体験した順になるように選択する問題とした。

英語４では、英語３と同様に CBT（Computer Based Testing）によって可能となる出題形式を活用し、アニメーションを使用して音声を聞いた後に選択肢の絵が示されるようにした。

■学習指導要領における目標

聞くこと

イ　はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。

■評価の観点

思考・判断・表現

■学習指導要領に示されている言語活動との関連

聞くこと

(ｴ) 友達や家族、学校生活などの日常的な話題や社会的な話題に関する会話や説明などを聞いて、概要や要点を把握する活動。また、その内容を英語で説明する活動。

１．解答類型と反応率

問題番号		解答類型		反応率（%）	正答
4		1	ア→イ→ウと解答しているもの	4.0	
		2	ア→ウ→イと解答しているもの	21.5	
		3	イ→ア→ウと解答しているもの	19.6	
		4	イ→ウ→アと解答しているもの	2.8	
		5	ウ→ア→イと解答しているもの	44.4	◎
		6	ウ→イ→アと解答しているもの	5.0	
		99	上記以外の解答	2.5	
		0	無解答	0.3	

（N= 283,194 人）

２．分析結果と課題

○　正答率は 44.4%である。職場体験についての発表を聞き、その後に示される３枚の絵を体験した順になるように選択する本問では、日常的な話題について、話を聞き、概要を捉えることに課題がある。解答類型１の反応率 4.0%。解答類型４の反応率 2.8%、解答類型６の反応率 5.0%と比較すると、誤答の中では解答類型２の反応率が 21.5%、解答類型３の反応率が 19.6%と高い。

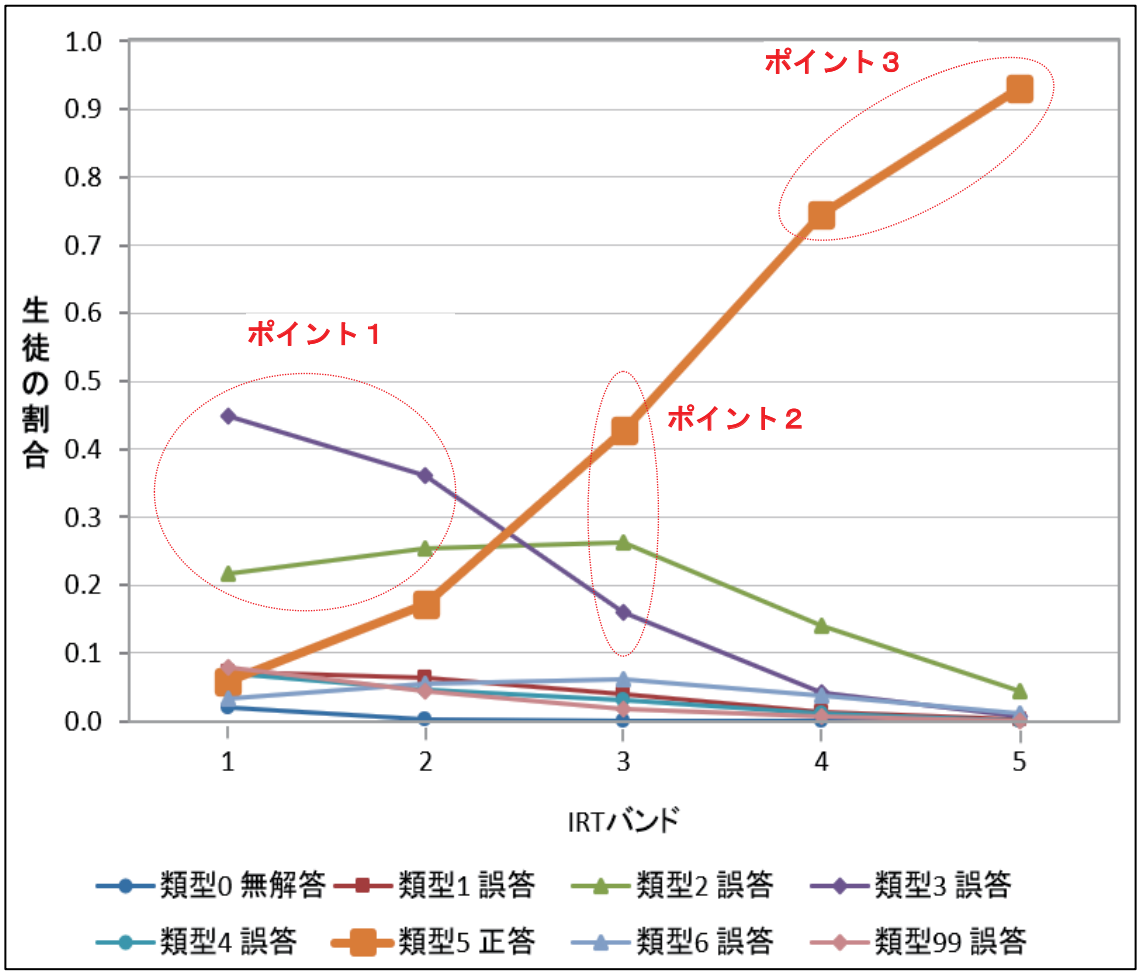
○　解答類型２に該当する生徒は、３つ目の場面 “Finally” と出来事を聞き取ることができているが、残る２つの場面と出来事を時間の流れに沿って聞き取ることができていないと考えられる。

※　思考発話調査では、“clean” や “ground” などの語句を聞き、３番目の絵が「イ．掃除をする」だと判断したが、その他の絵についての内容と順番は聞き取れていない生徒の様子が観察できた。

思考発話調査については、pp. 22-23 を参照

○　解答類型３に該当する生徒は、２つ目の場面 “After lunch” と出来事を聞き取ることができているが、残る２つの場面と出来事を時間の流れに沿って聞き取ることができていないと考えられる。ただし、１つ目の場面と出来事、および３つ目の場面と出来事を時間の流れに沿って捉えることができていないことから、２つ目の場面と出来事も聞き取ることができていない可能性が考えられる。

○IRT バンド別類型割合グラフ



○IRT バンド別類型割合グラフから分かること

・ポイント１について

IRT バンド１に属する生徒の４割以上、および IRT バンド２に属する生徒の３割以上が誤答である解答類型３、IRT バンド１、２それぞれに属する生徒の２割以上が誤答である解答類型２と解答しており、相当数の生徒が、場面と出来事を時間の流れに沿って聞き取ることができていないと考えられる。指導に当たっては、話される順番に着目して英語の音声を聞き、まずは２つの場面と出来事の順番を聞き取らせ、徐々に３つ以上の場面と出来事の順番を捉えられるようにすることが考えられる。 【p.47「学習指導に当たって」（１）】

・ポイント２について

IRT バンド３に属する生徒の４割以上が正答である解答類型５と解答している。IRT バンド１、２それぞれに属する生徒と比較すると、解答類型３と解答している割合は低くなっているが、２割以上が解答類型２と解答しており、連続する２つの場面と出来事を時間の流れに沿って聞き取ることができていないと考えられる。指導に当たっては、“In the morning” “After lunch” “Finally” などの時間的な場面の移り変わりを表す表現と体験した内容に着目して音声を聞かせ、聞き取った情報から場面の移り変わりを整理させることが考えられる。

【p.47「学習指導に当たって」（２）】

・ポイント３について

IRT バンド４に属する生徒の７割以上、および IRT バンド５に属する生徒の９割以上が、正答である解答類型５と解答しており、相当数の生徒が、職場体験についての発表を聞き、その後に示される３枚の絵を体験した順になるように選択することができていると考えられる。

IRT バンド別類型割合グラフから分かることを考える　その２

１．自校の IRT バンドの分布を確認する　※教師Ａ～Ｄは同じ中学校の同僚を想定している

教師 A

本校の IRT バンドの分布は図１のように、IRT バンド2、3に属する生徒の割合が高くなっていましたね。

教師 B

話を聞いて、概要を捉える問題の解答状況を見てみましょう。

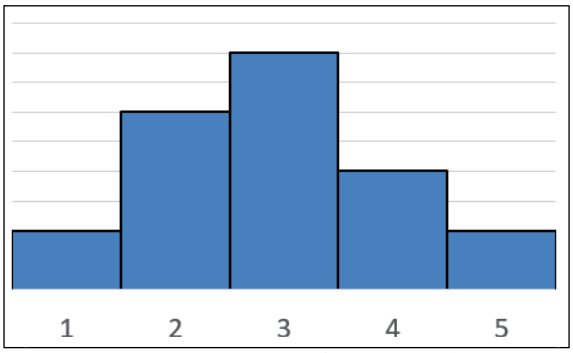
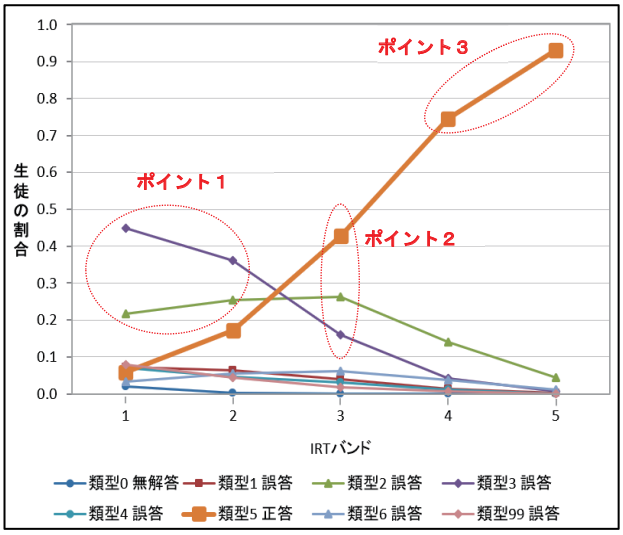


図１　Ｙ中学校の IRT バンドの分布

２．報告書より全国的な傾向を確認する

教師 C

誤答の解答類型が英語１のように１つに偏るのではなく、複数に分散しています。



I had work experience at a strawberry farm last week. In the morning, I made strawberry jam. I put strawberries and sugar into a pot, and cooked them. After lunch, I picked strawberries. I checked their sizes and colors. I put them into the box. Finally, I cleaned around the farm. I saw old strawberry leaves on the ground, so I collected them. The work was hard, but I had a great experience.

英語４　音声スクリプト

※音声を聞いた後に、絵が示される

教師 D

IRT バンド別類型割合グラフを見ると、IRT バンド4に属する生徒の7割以上、および IRT バンド5に属する生徒の9割以上が正答（ポイント3）、IRT バンド3に属する生徒の４割以上が正答しています。

IRT バンド１、2に属する相当数の生徒が、解答類型2、3と解答していますが（ポイント１）、IRT バンド3に属する生徒も誤答の中では解答類型2、3と解答する割合が高いです（ポイント2）。

3．全国的な傾向と自校の IRT バンドの分布を見て、指導の改善を考える

どの IRT バンドでも、誤答の中では、解答類型2と解答類型3の割合が高いのですね。多くの生徒が、解答類型2、3と解答する要因を考えてみましょう。

解答類型2では、3つ目の場面と出来事を捉えていますが、1 つ目と2つ目の場面と出来事を捉えることができていません。

解答類型2	ア→ウ→イ
解答類型3	イ→ア→ウ
解答類型5（正答）	ウ→ア→イ

この問題についても、どのように聞いているか、私が担当している生徒に聞いてみました。 pick、clean など、断片的に単語を聞き取っていましたが、その他の音声は聞き取ることが難しかったようです。音声ではなく、絵で判断してしまった生徒もいたようです。

どうして「ア→ウ→イ」と解答したの？

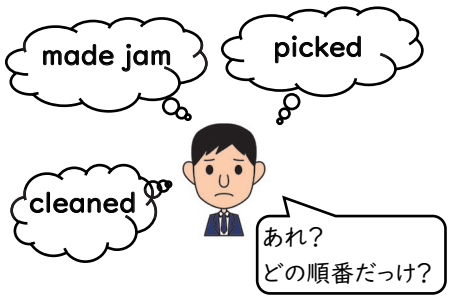
生徒

最後の clean は聞き取れたのですが、その前の順番が分からなかったので、イチゴを摘んでから、それらをジャムにするという流れから予想しました。

IRT バンド3になると、解答類型2、解答類型3と解答している生徒の割合が逆転しているので、IRT バンド3に属する生徒の方が、「最後に掃除をしたこと」は聞き取れているようです。

IRT バンド2、3に属する生徒の割合が高い本校において、話を聞いて、概要を捉えることができるようにするためには、どのような指導が必要でしょうか。

順番通りに聞くことができなかったり、場面の移り変わりを捉えることができなかったりするのではないでしょうか。解答類型2、3と解答している生徒にとっては、順番が分からなくなってしまったり、場面ごとの区切れが捉えにくかったりしているのかもしれません。



報告書の「学習指導に当たって」にある「話される順番に着目して英語の音声を聞く活動を行う」や「聞き取った情報から場面の移り変わりを整理させる」などが参考になりそうです。

場面の移り変わりを整理する生徒

本校では、「聞くこと」の指導について、重点的に取り組めていなかったので、もう一度各学年の目標を見直し、単元を通して、聞くことの力を高めていきましょう。

３．学習指導に当たって

（１）話される順番に着目して英語の音声を聞く活動を行う

話を聞いて、概要を捉えるためには、時間的な場面の移り変わりを順番通りに捉えることが大切である。例えば、ある人物が夏休みに行った２つの体験(「１日目に親戚の家を訪れたこと」と「２日目にキャンプに行ったこと」など）について話される英語の音声を聞き、その人物が体験した順番を確認させたり、時系列を整理するワークシートにメモを取らせたりすることが考えられる。はじめは、英語の音声を聞いて、２つの出来事の順番を捉える活動を繰り返し、徐々に３つ以上の体験を話された順番通りに捉えさせることが考えられる。

（２）聞き取った情報から場面の移り変わりを整理させる

話を聞いて、概要を捉えるためには、話題を把握した上で、特定の部分にのみとらわれることなく、話の最初から最後まで通して聞かせることが重要である。その際、どのような内容が話されているのかを理解するために、文章の構成を意識して聞いたり、メモしながら聞いたりすることが考えられる。話を聞いた後、聞き取った情報や、情報と情報との関係、展開を表す表現などから場面の移り変わりを整理することが大切である。その後、ペアやグループで場面の移り変わりをどのように整理したのかを伝え合ったり、学級全体で確認したりすることが考えられる。

場面の移り変わりを整理する際には、時間的な場面の移り変わりを表す表現や、空間的な場面の移り変わりを表す表現、出来事に関連した表現に着目するなど、何に着目するかによって複数の整理の仕方があることを共有することも考えられる。その上で、場面の移り変わりを意識して再度聞き、はじめは聞き取れなかった箇所を聞き取ることができたかどうかを確認することが大切である。

例えば、英語４では、“In the morning” “After lunch” “Finally”という時間的な場面の移り変わりを表す表現に着目して聞き、場面の移り変わりを整理することで概要を捉えることにつながると考えられる。

英語の音声を繰り返し聞かせるだけでは場面の移り変わりを整理することが難しいため、話された内容の音声スクリプトを読み、文章の構成や概要を捉えるための手がかりとなる語句や表現に着目して聞くように指導したりすることが大切である。その際に、音のつながり、音の変化などについても指導すると概要を捉えるための必要な語句や表現の聞き取りにも役立つと考えられる。生徒が音声スクリプトを見ながら英語を複数回聞いたり、音声スクリプトを活用して場面の移り変わりを整理したりする活動も考えられるが、徐々に英語の音声を聞く回数を減らし、最終的には英語の音声を１回のみ聞いて、自ら場面の移り変わりを整理し、概要を捉えることができるようにしていくことが大切である。

（３）言語活動の例

- 「お気に入りの日本食」について ALT の話を聞き、話全体の大まかな内容を捉える活動
- ある人物の生い立ちを聞き、そのあらましを把握し、主な出来事を他の生徒に伝える活動
- 「夏休みの思い出に残っていること」などのテーマについてのスピーチを聞き、主な発話内容を整理する活動
- 関心のある国や地域についての発表を聞き、話の流れを示すスライドを並べ替える活動

英語４は「聞くこと」と「読むこと」の違いはあるが、英語９と同じように「日常的な話題について、概要を捉えること」ができるかどうかをみる問題である。そのため、「日常的な話題について、短い文章を読み、概要を捉えること」ができるようにする指導も併せて行うことが考えられる。

授業アイディア例をお読みいただく際の留意点

令和８年度全国学力・学習状況調査　報告書　中学校英語　では４つの授業アイディア例を掲載しています。授業アイディア例をご覧いただく際の留意点を吹き出しの赤字で記載しましたので、授業アイディア例と併せてご覧ください。

授業アイディア例１　英語の音声を聞き、概要を捉える

１．本アイディア例と関連する調査問題と正答率

英語4　正答率 44.4%　調査問題（クリック、読み込み）　音声スクリプト（クリック、読み込み）

2. 中学校学習指導要領における領域・内容

聞くこと　イ　はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を聞き取ることができるようにする。

詳細は、中学校学習指導要領解説を確認してください。
領域別の目標に基づき、単元の目標を設定します。

3. 単元計画

（１）単元の目標

聞いた内容について、感想を踏まえて他者に伝えるために、夏休みの思い出を聞き、概要を捉えることができる。

（２）単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

※「記録に残す評価」は後日に行う。

生徒の活動の状況を見届けて生徒の学習改善や教師の指導改善に生かす評価は毎時間行いますが、「記録に残す評価」をどこで行うのかを示しています。

単元の流れを大まかに示していますが、生徒の学習状況や教科書の内容に応じて、活動を行う際の参考にしてください。

「指導上の留意点」では、単元の目標を達成するために、いつ何を指導しているかを示しています。

（３）単元展開

時間	■ねらい 知 知識及び技能　聞 聞くこと　読 読むこと や 話すこと［やり取り］　発 話すこと［発表］　書 書くこと 促したい生徒の気付き、振り返り	※指導上の留意点
1	■単元の目標を理解する。 聞　教師の友達が夏休みに体験した２つのことについて、教師の話を聞く。 発　夏休みの思い出について、ペアで紹介し合う。 聞　教師の友達が夏休みに体験したことについて、教師から感想を聞き、単元の目標を理解する。	※どのようなことが話されているかを考えながら聞くように伝える。 ※「聞いた内容について、感想を踏まえて他者に伝えるために」という概要を捉える目的を明確にする。

	聞いたことを他の人に伝えるためには、話の大まかな内容を聞く必要がありそうだ。 知　動名詞の特徴やきまりについて理解し、夏休みに楽しんだことについて表現する。	※第２時以降も動名詞の指導を継続して行う。 **それぞれの時間において、ねらいに沿って促したい生徒の気付き、振り返りなどを示しています。**
2	**■教科書の登場人物の週末の出来事を聞き、聞き取った情報について内容を理解する。** 聞　再度、週末の出来事について、メモを取りながら聞く。 聞　聞き取った情報のメモから、場面の移り変わりを整理し、どのように整理したかを、ペアや学級全体で共有する。 ある出来事に関連した表現に着目すると内容をまとめられそうだ。	※情報と情報との関係を把握させる。 ※場面の移り変わりを整理すると概要を捉えることにつながることを確認する。
…	・・・・・・	

４．第４時の展開案

１時間の授業における学習過程を示しています。

「ポイント」には、指導の留意点とその意図を示しています。

２．聞き取った情報から場面の移り変わりを整理する

ポイント　概要を捉えるために、時間的な場面の移り変わりを表す表現や出来事に関連する表現などに着目して、場面の移り変わりを整理させます。必要に応じて、個別支援を行います。

Listen to Mr. Smith's summer vacation. When you listen, take notes on your tablet yourself.

I went to Karuizawa in Nagano prefecture. Everything was new to me. On the 1st day, I took Shinkansen to Karuizawa. I ate soba at a local restaurant. It was very good, but using chopsticks was difficult for me. The next day, I went to Shiraito Falls by bus. I saw beautiful waterfalls and enjoyed taking many pictures. The view was surprising. After that, I returned to the station by bus and walked to the outlet mall. I bought some new goods, such as shoes, bags, and clothes. They were fashionable. I enjoyed my trip to Karuizawa. If you have a chance, why don't you visit?

※録音し、後の活動で生徒が聞くことができるようにします。

生徒が英語を聞きながら書いたメモ（例）

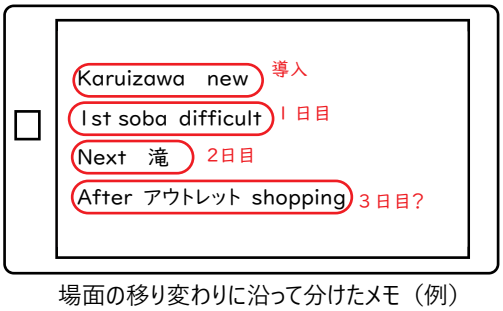
単元の初めは、複数回聞かせたり、音声スクリプトを見ながら聞かせたりしますが、徐々に音声を１回だけ聞いて、内容を整理できるようにします。

黄色の枠には、活動における教師の支援などを示しています。

大まかな内容を捉えるために、メモした表現を場面の移り変わりに沿って整理してみましょう。
Then, organize your notes.

聞き取れなかった箇所もあるけれど、２時間目に学習した「出来事に関連した表現」に着目して整理すると…

話がつながらないところもあるので、友達はどのように整理したのか聞いてみたい。



場面の移り変わりに沿って分けたメモ（例）

授業アイディア例１　英語の音声を聞き、概要を捉える

１．本アイディア例と関連する調査問題と正答率

英語[4]　正答率 44.4%　調査問題（クリック、読み込み）

音声スクリプト（クリック、読み込み）

2. 中学校学習指導要領における領域・内容

聞くこと　イ　はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を聞き取ることができるようにする。

3. 単元計画

（１）単元の目標

聞いた内容について、感想を踏まえて他者に伝えるために、夏休みの思い出を聞き、概要を捉えることができる。

（２）単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・動名詞の特徴やきまりを理解している。 ・動名詞などの特徴やきまりの理解を基に、夏休みの思い出について聞く技能を身に付けている。	聞いた内容について、感想を踏まえて他者に伝えるために、夏休みの思い出を聞き、概要を捉えている。	聞いた内容について、感想を踏まえて他者に伝えるために、夏休みの思い出を聞き、概要を捉えようとしている。

※「記録に残す評価」は後日に行う。

（３）単元展開

時間	■ねらい	
	知 知識及び技能　聞 聞くこと　読 読むこと や 話すこと［やり取り］発 話すこと［発表］書 書くこと 促したい生徒の気付き、振り返り	※指導上の留意点
1	■単元の目標を理解する。	
	聞　教師の友達が夏休みに体験した２つのことについて、教師の話を聞く。 発　夏休みの思い出について、ペアで紹介し合う。 聞　教師の友達が夏休みに体験したことについて、教師から感想を聞き、単元の目標を理解する。 聞いたことを他の人に伝えるためには、話の大まかな内容を聞く必要がありそうだ。 知　動名詞の特徴やきまりについて理解し、夏休みに楽しんだことについて表現する。	※どのようなことが話されているかを考えながら聞くように伝える。 ※「聞いた内容について、感想を踏まえて他者に伝えるために」という概要を捉える目的を明確にする。 ※第２時以降も動名詞の指導を継続して行う。
2	■教科書の登場人物の週末の出来事を聞き、聞き取った情報について内容を理解する。	
	聞　動名詞を含む週末の出来事を聞き、聞き取った情報について、内容をペアで共有する。	※どのようなことが話されているかを考えながら聞くように伝える。

	聞　再度、週末の出来事について、メモを取りながら聞く。 聞　聞き取った情報のメモから、場面の移り変わりを整理し、どのように整理したかを、ペアや学級全体で共有する。 ある出来事に関連した表現に着目すると内容をまとめられそうだ。	※情報と情報との関係を把握させる。 ※場面の移り変わりを整理すると概要を捉えることにつながることを確認する。
3	**■教科書の登場人物の夏休みの思い出を聞き、概要を捉える。**	
	聞　夏休みの思い出を聞いて、聞き取った情報のメモから、場面の移り変わりを整理し、学級全体で共有する。 聞　時間的な場面の移り変わりを表す表現に着目して、再度、話を聞いて、場面の移り変わりを整理する。必要に応じて音声スクリプトを参照する。 読　複数の文章から話の概要が書かれた文章としてふさわしいものを選択する。 出来事に関連した表現に加え、時間的な場面の移り変わりを表す表現にも着目して場面の移り変わりを整理すると概要を捉えられそうだ。	※時間的な場面の移り変わりを表す表現に着目して場面の移り変わりを整理させ、話全体の概要を捉えさせる。 ※情報に偏りがある文章、一部の情報だけが詳細に述べられている文章などの選択肢を作成する。
4 本時	**■ALT が夏休みに旅行に行った思い出を聞き、概要を捉えることができる。**	
5	**■教科書の登場人物が週末の出来事について質問したり、答えたりしているやり取りを聞き、内容を理解する。**	
	聞　動名詞を含む対話を聞いて聞き取った情報をメモし、場面の移り変わりを整理した後、学級全体で共有する。 発　聞き取った表現を用いて、週末にしたことを紹介し合う。 や　友達と週末にしたことについて互いに紹介し合い、関連した質問をしたり、コメントをしたりする。 関連した質問をしたり、感じたことを話したりするために、話の全体を捉えることが大切だ。	※週末の出来事を話す際に、事実と感じたことなどを話していることを確認する。
6	**■友達の夏休みの思い出を聞き、概要を捉える。**	
	発　１つの出来事について詳細をまとめたり、時間の流れが伝わったりするように話す内容を整理し、友達に伝える。 聞　ある出来事に関連した表現や時間的な場面の移り変わりを表す表現などに着目して友達の夏休みの思い出を聞く。聞いた内容を自分なりに表などに整理する。 ある出来事に関連した表現や時間的な場面の移り変わりを表す表現などに着目して聞くことで夏休み中の３つの体験とその感想を聞き取れた。	※内容を２つか３つに絞り、出来事とそこで感じたことを話すなどの指示を与えて、支援する。 ※必要に応じて、単元前半で扱ったメモを活用して聞くように促す。
7	**■友達の夏休みの思い出を聞き、捉えた概要を感想とともに別の友達に伝える。**	
	発　第６時に整理した友達の夏休みの出来事を感想とともに別の友達に伝える。 聞　相手の友達から別の友達の夏休みの思い出を聞いて概要を捉え、その話題について感想を伝え合う。 友達の思い出について概要を捉えることで、複数の出来事について感想を伝えることができた。	※友達の夏休みの思い出を相手に伝える際には、話の全体を過不足なく話すことを意識するように伝える。
後日	■ペーパーテスト　（令和８年度全国学力・学習状況調査　中学校英語4など）	

4. 第４時の展開案

１．コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを把握する

ポイント　意欲を高めたり、活動の見通しをもたせたりするために、「聞いた内容について感想を踏まえて他者に伝えるために」というコミュニケーションを行う目的を明確にします。

How was your summer vacation?

Mr. Smith (ALT)

教師

I went to Sapporo for three days. On the first day, I ate fresh seafood. It was delicious. The next day, I saw colorful flower gardens. On the last day, I visited a farm. I enjoyed eating sweet melon there.

You went to Sapporo. You ate seafood, saw colorful gardens and visited a farm. You made great memories. That's wonderful. What do you think?

生徒

I think it is nice. I want to go to Sapporo.

How was your summer vacation, Mr. Smith?

I had a great memory, too. Everything was new to me.

Can you tell us about your summer vacation?

Sure.

Today listen to the story about his summer vacation and get the outline. After that, share the impression of his summer vacation.

２．聞き取った情報から場面の移り変わりを整理する

ポイント　概要を捉えるために、時間的な場面の移り変わりを表す表現や出来事に関連する表現などに着目して、場面の移り変わりを整理させます。必要に応じて、個別支援を行います。

Listen to Mr. Smith's summer vacation. When you listen, take notes on your tablet yourself.

I went to Karuizawa in Nagano prefecture. Everything was new to me. On the 1st day, I took Shinkansen to Karuizawa. I ate soba at a local restaurant. It was very good, but using chopsticks was difficult for me. The next day, I went to Shiraito Falls by bus. I saw beautiful waterfalls and enjoyed taking many pictures. The view was surprising. After that, I returned to the station by bus and walked to the outlet mall. I bought some new goods, such as shoes, bags, and clothes. They were fashionable. I enjoyed my trip to Karuizawa. If you have a chance, why don't you visit there?

※録音し、後の活動で生徒が聞くことができるようにします。

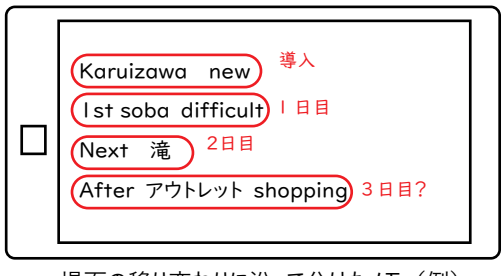
生徒が英語を聞きながら書いたメモ（例）

単元の初めは、複数回聞かせたり、音声スクリプトを見ながら聞かせたりしますが、徐々に音声を１回だけ聞いて、内容を整理できるようにします。

大まかな内容を捉えるために、メモした表現を場面の移り変わりに沿って整理してみましょう。
Then, organize your notes.

聞き取れなかった箇所もあるけれど、２時間目に学習した「出来事に関連した表現」に着目して整理すると…

話がつながらないところもあるので、友達はどのように整理したのか聞いてみたい。



場面の移り変わりに沿って分けたメモ（例）

3．グループや学級全体で場面の移り変わりの整理の仕方を共有する

ポイント　話の概要を捉えるために、整理したメモを基に、どのように場面の移り変わりを整理したのかをグループや学級全体で共有します。

How did you organize your notes? Share your ideas in your group.

①出来事に関連する表現に着目して整理しました。「そば」「滝」「買い物」の３つの内容で、３日間長野県の軽井沢に行ったということでしょうか。

②出来事に着目すると３日間に聞こえますね。時を表す表現に着目すると３つ目が After that だったので、２つ目と３つ目は同じ日で、２日間ですね。

③私は感想にも着目して good, surprising, fashionable もメモしました。新幹線→バス→バスと歩きの移動手段でも整理できそうです。

④感想があると new to me とつながりますね。場所だけに着目すると２つのまとまりになってしまうので、出来事と関わらせて３つにまとめるとよさそうです。

Listen to the audio at your own pace and organize your notes on your tablet again.

出来事に関連する表現に加えて、時間的な場面の移り変わりを表す表現や、感想を述べる表現にも着目して、話された順にまとめると、Mr. Smith の話の全体をさらに捉えることができそう。

□
導入
Karuizawa new　１日目
1st soba→good　chopsticks→difficult
Next 滝 surprising　2日目
~~3日目?~~ 2日目
After アウトレット shopping fashionable

生徒 A が再度整理したメモ（例）

You got the outline of Mr. Smith's summer vacation.

ポイント　話された内容の詳細を理解するために、音声スクリプトを活用して、聞き取れなかった語句や表現を確認させたり、音の変化に着目して特定の箇所を聞かせたりします。

Underline the words and phrases when you didn't understand. If you want, listen to the audio of Mr. Smith again, or listen to the audio at the slower speed.

（※オンライン辞書で調べる。）
goods が「商品」といった意味だった。確かに日本語でも「グッズ」という言葉はあるが、あまり結び付かなかった。

「サッチャーズ」が何のことか分からなかったけれど、ゆっくり聞いたり、繰り返したりして音声スクリプトを確認してから聞いたりすると、"such as" という音を聞き取ることができた。

□

After that, I returned to the station by bus and walked to the outlet mall. I bought some new goods, such as shoes, bags and clothes.

生徒が書いた下線（例）

4．話を聞いて、友達と感想を伝え合う

We listened to Mr. Smith's summer vacation. What do you think about it?

Mr. Smith saw beautiful waterfalls at Shiraito Falls. I want to see the picture.

Mr. Smith experienced Japanese culture. I am happy.